

心に残る 風景がある島。

おぢかの 旅スス

このカタログは両面からご覧いただけます。
「風景」「人・歴史・物」とそれぞれ読みすすめると、
真ん中が「地図」へと繋がっています。
ぜひあなたらしい、自在に「島暮らし」を楽しむような
島旅のカタチを探してみてください。



島旅のお問い合わせはすべて
おぢかアイランドツーリズム
〒857-4701
長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷 2791-13
小値賀港ターミナル内
電話 0959-56-2546
(6:30~18:30 年中無休)

あなたの描く
その旅は、
どのような
スローな時間をお求めですか？

おぢかの島旅へようこそ。この島は長崎県五島列島の北端に浮かぶ小さな島。
島への旅は、限られた船便のアクセスで滞在する日と時間が決まっています。
島内での移動手段、その日の食事と泊まり方を時間のポイント
として決めてしまえば、スケジュールは自由自在。
バック旅行では味わえない、スローな時間をぜひお楽しみください。



心に残る 人に出会える島。



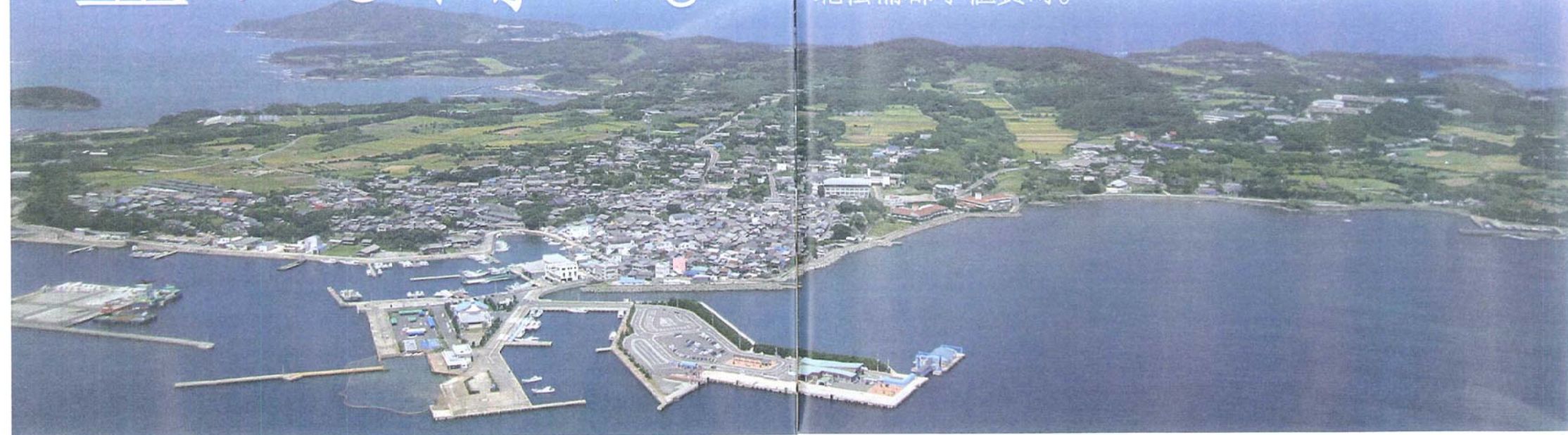
おぢか
www.ojikajima.jp

おぢか
www.ojikajima.jp

西海に浮かぶ なんにもない 豊かな島々。

けど、

長崎県五島列島の北端
東シナ海に浮かぶ小さな島。
北松浦郡小値賀町。



その昔、火山の噴火によってできた小値賀島。海岸に残る赤い砂は、そのなりたちを思い出させます。島には珍しいなだらかな地形と遠浅の海から得られる恵みは、小値賀に豊かな人々の生活をもたらしてきました。その豊かさが、小値賀の人々の人懐っこい笑顔と、おもてなしの精神に息づいています。

旅人を魅了するもう一つの島、野崎島はうってかわって急峻な斜面。島内施設

の管理人以外ほぼ無人となった今では、無心な目をした鹿が生きる静かな島です。かつてここに暮らしたキリシタンの敬虔な祈りの跡は、訪れる者の胸をうちます。海に囲まれ、昔ながらの日本人の生活の形と心の形が、きれいに残されていること、これが小値賀が人々を魅了してやまない理由なのかもしれません。

景 何気ない風景の一つひ



野首海岸

町で最長を誇る約400mのロングビーチ。白くやわらかい砂浜、果てしなく続くコバルトブルーの海、思わず歓声が上がる美しさです。

見開き Map P14 右中

のざきじま

野崎島

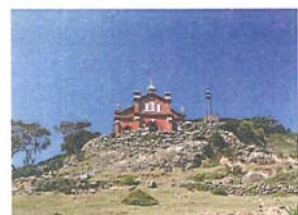
小値賀島から船で30分。かつてキリシタンたちが暮らした島も、いまは住む人をなくしてひっそりと佇みます。海からの風に吹かれて、その静謐さに身を浸す贅沢な時間を。



浜崎鼻ゴルフ場

島の有志で管理される、かつては放牧場だった手作りのゴルフコース。半島一面に天然の芝生、夏はキャンプ場にも活用されています。

見開き Map P15 中上



旧野首教会

鉄川与助による初期のレンガ造教会。教会としての機能は失っているものの、その建築様式、風貌、歴史的背景に魅せられて多くの人が訪れます。

見開き Map P14 右中



野崎港・旧野崎集落

野崎島の玄関口。周辺一帯の野崎集落には今でもかろうじて数軒の家屋が残し、人々の営みが確かにここにあったことを伝えてくれます。

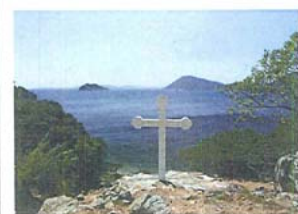
見開き Map P14 右中



ポットホール

玄武岩の裂け目、深さ3m 口径2mの穴に直径50cmの玉石が眠ります。永い間、波が嘔吐ときに動転を繰り返し現在の姿に。まさに自然の奇跡です。

見開き Map P15 左上



旧舟森集落

森を抜けた島の南端に、急潮の瀬戸を望むその場所は、かつて信仰篤き人々がひっそりと暮らしを営んだ地。畏敬の年を感じずにはいられません。

見開き Map P14 中下



王位石・沖の神島神社

そびえたつ巨石は高さ24メートル。自然か、人の手によるものか、その成り立ちは謎に包まれています。その真下には沖の神島神社があります。

見開き Map P14 中上



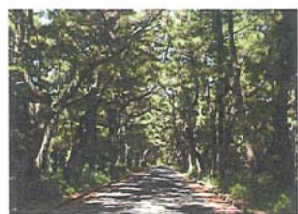
サンセットポイント

その海の先は遙かユーラシア。刻々と色彩を変える空と海は、日本の西の最果て、東シナ海の田舎ならではの雄大な夕日を鑑賞できます。

見開き Map P15 左上

とつに、心が動く。

島の歴史と美しい自然。時間が培ってきたものの息吹を感じる場所。



姫の松原

道の両端から覆われた立派な黒松並木。1675年に植林されたとの記録があるほど大切に育まれた日本名松百選松原は、サイクリングにもオススメ。

見開き Map P15 中



牛の塔

建武新田の際、犠牲となった多数の使役牛の供養塔。命を尊び塔の下部には石一万个に経文一文字を写した「一字一石経」約7万个が埋納されています。

見開き Map P15 右下



柿の浜海水浴場

海の透明度は町の中で一番高く、遠浅なので子ども連れにも大人気。美しい砂浜と透き通った海、そして潮の満引によって現れる溶岩も魅力です。

見開き Map P15 中上



赤浜海岸

普通砂浜といえば白色ですが、ここは火山島ならではの「赤色」。火山岩の砂れきでできた、とても珍しい赤い砂浜。公園からの展望も最高です。

見開き Map P15 右下

おぢかじま

小値賀島

火山の噴火によってできた赤い大地に、人々が紡いできた生活が息づく小値賀島。小さな島に広がる漁師町や田園風景は、不思議と懐かしい日本の姿を思い出させます。



フェリーターミナル

島外からのフェリーや高速船が発着するターミナルは、まさに島の玄関口。アイランドツーリズムのカウンターもこちらです。

見開き Map P15 右下



五両だき

幾万年の海蝕によってできた円形の形をした五両だきの奇景。たどり着くのは少し大変ですが、周囲の手つかずの緑と白い砂浜が圧巻です。

見開き Map P15 中上



地の神島神社

島屋は「真真島屋」と呼ばれ、旧平戸藩領内にだけ建てられたもの。海に向かって立つ島屋を抜けると、正面野崎島に沖の神島神社を望めます。

見開き Map P14 左中



あわび館

年間通じてあわび・サザエの販売と、あわび漁を主とした多くの資料展示を行います。鮮具はもちろん、あわびパールなどの加工品もあります。

見開き Map P15 右下



泊まり方、いろいろ。

島時間、いろいろ。

小値賀を暮らすように
滞在できる
選べる宿をご紹介します



小西旅館 TEL 0959-56-3145

【住 所】小値賀町笛吹郷 2789
【部屋数】3人用 ×15

おちかの島宿は、みんなフレンドリー。豪華な宿屋さんはありません。だけど、心を温かくする宿はたくさんあります。

旅館・民宿



古民家
ステイ



民宿ちとせ TEL 0959-56-2797

【住 所】小値賀町笛吹郷 1856-1
【部屋数】9畳 ×1、8畳 ×1
6畳 ×1、4.5畳 ×1



民宿丸ま TEL 0959-56-2017

【住 所】小値賀町笛吹郷 1659
【部屋数】8畳 ×2、6畳 ×2
ツイン ×1、トリプル ×1

詳細パンフのご紹介 「小値賀を暮らす大人の旅」
古民家ステイに関する情報を16ページのヴィジュアルパンフにまとめてあります。HPの特設サイトもチェック！

漁師町の路地や、のびやかな田園風景、眼前に広がる港への眺望…。個性豊かな小値賀の町にじっくりなじんで付くのが、美しくリノベーションされた古民家です。古民家ステイで叶うのは、まるで島の住人になったかのような一日。港で買ったびつちの魚を料理して食べるのもよし、周りを散策するのもよし、夜が更けるまに話し込むのもよし。漁師町に近い「先小路」や港を望む「鮑集」など、趣の異なるその一棟ごとを貸切りで満喫して。



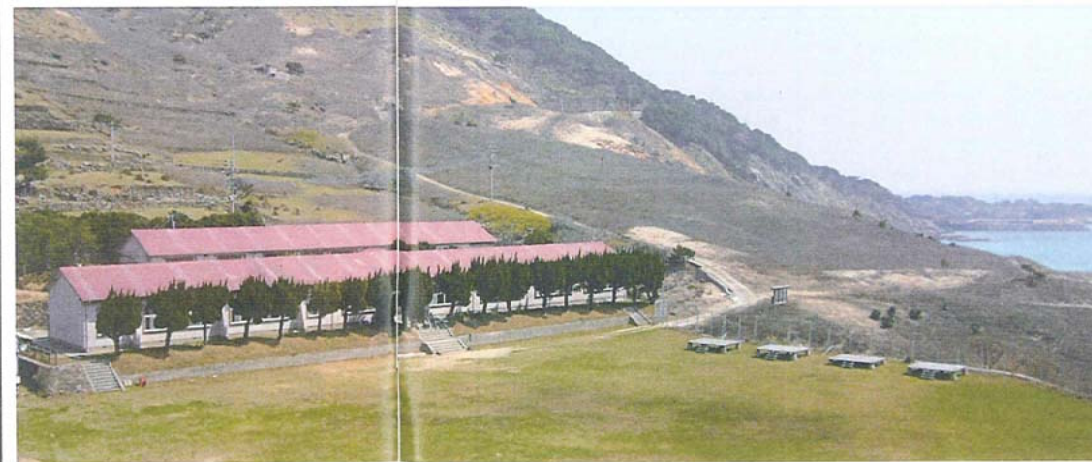
民宿田登美 TEL 0959-56-4400

【住 所】小値賀町笛吹郷 1828
【部屋数】10畳 ×1 6畳 ×4
4.5畳 ×3



民宿鈴の屋 TEL 0959-56-2762

【住 所】小値賀町笛吹郷 1620
【部屋数】6畳 ×2 6畳2間 ×1
4.5畳 ×1 洋間 ×1



野崎島自
然学塾村



詳細パンフのご紹介 「奇蹟の島」への旅
野崎島への旅に関する情報を見どころ紹介から、入島ガイドまでご案内しています。特設HPもあります。

もっと自然を満喫したい派のあなたなら、ぜひ「野崎島自然学塾村」へ。目いっぱい自然が残る野崎島で、なにもないことの贅沢を心から感じる事ができる宿泊施設です。廃校になった小・中学校の木造校舎を再利用していて、宿泊室、浴室、炊事場などを完備。自分たちで作ったごはんを食べて、夜は満点の星空を眺め、朝は早くから朝日を見に出かける、そんな一日を過ごせる希有な場所です。旧野首教会、野首海岸のほど近くにります。



民宿千代 TEL 0959-56-2867

【住 所】小値賀町笛吹郷 1358-6
【部屋数】8畳 ×1、6畳 ×1、
4.5畳 ×1



民宿はかたや TEL 0959-56-2181

【住 所】小値賀町笛吹郷 1421-2
【部屋数】8畳 ×1、6畳 ×2

おぢかんアイドル“ちかまる”がオススメ 小値賀島で過ごす 大人のスローな社会見学

自然・歴史・文化と、意外と深い小値賀島。
自分なりの探検の前に、まずは達人の指南を。

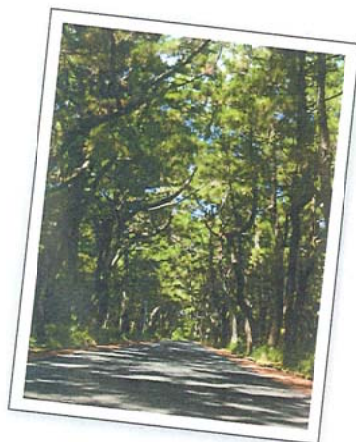
小さなこの島には、いわゆる観光地のように整備されたところはないけれど、意外と見どころは多いのです。自分のペースでゆったり散策してもらおうのがオススメです。まずは下見がてらガイドツアーの参加もオススメです。日本の中でもこの地方、この島にしかない風景。島の達人ガイドが、島の歴史や風土的な特徴から、地質や気象の知識を交えてご案内します。(っチカ！)



小値賀町公式ゆるキャラ・みんなの人気者ちかまる君

Schedule...

- | | |
|--------|--|
| 10:00頃 | おぢかアイランドツーリズムの専門スタッフによるガイドツアー開始！島の景勝地や歴史スポット、バツグンの風景スポットを巡る約2時間。 |
| お昼 | 島の小さな繁華街「笛吹（ふえふき）」の定食屋さんで食事。お弁当屋さんで買った弁当を持って景色の良い場所を探すのも楽しい！ |
| 午後 | フェリーターミナルのカウンターでレンタサイクルを借りて、改めてゆっくり自分の脚で探検へ。車とは違った風景が見れるはず。 |



南北約6.5キロメートル、東西約2キロメートルの比較的大きな野崎島。かつては野崎・野首・舟森の三集落があり、600人前後の人々が暮らしていました。現在は管理関係者以外、ほぼ無人の島となっていますが、石積みの段々畑、神社、家屋の跡が残っています。島内全域には、野生のニホンジカ400頭以上が生息し、自然のままの姿を観察することができます。誰もいない島の中でかつてそこにあった面影を感じながら過ごす、ここでしか味わえない贅沢な時間。午後のはまゆうで帰る場合は、島の北部にある王位石と沖の神島神社、または島の南にある旧舟森集落へのトレッキングもおすすめです。

Schedule...

- | | |
|-------|--|
| 14:30 | 小値賀島笛吹港より町営渡船はまゆうで野崎島へ |
| 15:05 | 廃墟となった野崎集落を探索散策したら、誰もいない波止場釣りで晩ごはんを調達！ |
| 夕方 | 徒歩で学塾村へ向かって、調理室で自炊。自然の中で食べる自分で獲った魚の味は格別です。 |
| 夜 | 明かり一つない夜空はまさに満天の星。 |
| 翌朝 | 朝日が当たる天主堂を見学。 |
| 08:05 | 野首港より町営渡船はまゆうで小値賀島へ帰ります。 |

野崎の主こと前田トッピーがオススメ

野崎島で過ごす”本当の豊かさ”

「本当の豊かさって？」そう思うとき訪れてほしい島。



各エリアの担当者オススメ
島でのこんな過ごし方



NPO法人おぢかアイランドツーリズム協会事務局長 民泊・自然体験事業担当 前田 敏幸
まえだ としゆき



おぢかコンシェルジュこと平田直子がオススメ おぢかの古民家でスローな時間

思い思い、ゆったりとした時間で、
のんびり「何もしない」時間の豊かさを。

100年以上の月日、島の暮らしとともに
あった古民家を快適に改装した、一棟貸
し切りスタイルの「古民家ステイ」と「古
民家レストラン」。
いずれも小値賀島にあり、港町や田園な
ど、趣き異なる集落に点在しています。
それぞれに備えた古き美しさに快適性を
加え、心豊かに過ごしていただけること
と思います。海に隔てられた島だからこ
そに残る、上質な島時間をゆったりと
お過ごしください。

小値賀観光まちづくり公社
お客さま担当
平田 直子
ひらた なおこ



Schedule...

- 14:00 チェックインは車で、古民家へご案内。
まずはゆっくり、自分の棲み家を探検
ください。
- 午後 古民家の界隈をお散歩。船着場から
さらに船に乗って納島に渡るのもお薦
めです。夜は我が家のようにホーム
パーティ仕立てのゆったり時間を。
- 翌日 誰もいない柿の浜の海岸でハンモック。
あえて何もしない、昼寝もよし! な
スロー時間を楽しんでみては?



漁師町の古民家

島の小さな繁華街「笛吹」地区のなかで、
漁師町の風景や匂いを感じながらの滞在を。



田園集落の古民家

田畑や緑のひろがる田舎集落のなかで、ひつ
そり何もない贅沢な時間と風景を思う存分
に味わって。



古民家レストラン

捕鯨・酒造りで小値賀の富を築いた、旧藤松家の屋敷を改装したレスト
ラン。多彩な島の食材と伝統食に並び、風土に根ざした創作和食料理を
提供いたします。



NPO 法人おぢか
アイランドツーリズム協会
民泊・自然体験事業
担当
末永 貴幸
すえなが たかゆき

小値賀自然児こと末永ターチュンがオススメ

島での自然体験はゆったり大盛りで!

自慢の島ならではの風景を全身で感じる!
「自分だけの島旅」の過ごし方を。

西海国立公園の海や島の豊かな自然。日本から
遥かユーラシアへと広がる歴史のスケール。
そして何よりも、ちょっとユニークな島民性と
フレンドリーな島人との出会い。フィールドを
よく知る専門ガイドや気さくな島人が、より深
い「島旅、島時間、島ステイ」へとご案内します。

車での速度感では味わえない、広がる農村風景
の先には、青い海と広い空。普段見えない景色
やこの島の暮らしが見えてきます。また、島の
人たちの出会いもここならではの楽しみ。
あなただけの島旅スタイルを探してみてください。



Schedule...

- 10:00頃 島の中でも更にのどかな農道やあぜ道を
行くフットパス。草木や天気、鳥などの
小動物など、簡単なガイドを交えながら
歩くスローな時間は、身体もココロも癒
されてリフレッシュ。
- お昼 「笛吹（ふえふき）」の飲食店でお食事。
徒歩で漁師町付近を散策。
- 17:00頃 ぶち民家体験で、島のお母さんのところで
地元料理作りの指南を受けながら夕食を。

Schedule...

- 10:00頃 柿の浜海水浴場でネイチャーカヌー。
準備運動・道具の使い方からはじまって、
最初は浅場で練習。慣れてきたら岩場の
近くや沖の方まで!
- お昼 「笛吹（ふえふき）」の飲食店でお食事。
- 午後 港周辺の波止場から、サビキ釣りに挑戦!
えさの付け方から釣り方まで丁寧に教え
るので安心です。



旅 さあ、東シナ海の

かんたん見やすい旅カタログ
「おぢか島旅ホームページ」を
ご覧ください！

<http://ojikajima.jp>

メイン
こちらから



最新情報は
ニュースを
チェック！
ブログや
フェイスブックも
随時更新！

Step 1 まずは、あなた好みの
旅を探してみてください。

「人数から選ぶ島旅」や島の紹介、アクセスなど、各メニュー
メインメニューよりご覧ください。

Step 2 宿とアクティビティの
詳細ページでチェック！

「島ステイ」「ツアー&アクティビティ」のメニューより、
各詳細情報を見ることができます。

Step 3 ご相談は、かんたん便利な
ホームページで

「お問い合わせフォーム」をご準備しておりますので、必要
事項ご記入のうえ、送信ください。

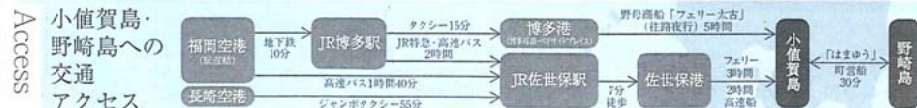
ホームページ環境のない方は、もちろんお電話でもご対応いたします。
いつでもお気軽にお問い合わせください。6:30～18:30年中無休

→0959-56-2646

小値賀島へのアクセス情報

博多航路	佐世保航路	博多航路 「太古」
野母商船フェリー 「太古」 1往復/日 間 092-291-0510	九州商船高速船 「シーカーン」 2往復/日 間 095-822-9153 (長崎予約センター)	九州商船フェリー 「なるしお」 2往復/日

九州本土から、小値賀島へ渡る航路は2つあります。福岡県の博多から出ている野母商船のフェリーと、もうひとつは、長崎県の佐世保から出ている、九州商船のフェリーまたは高速船です。それぞれの運行時刻・運賃に関しては、それぞれの船舶会社のページを参照ください。なお、船便は天候の影響を大きく受けるため、乗船される船の運航情報を事前にご確認ください。
ご確認に関しては、「九州のりものinfo.com」が便利です。



【ご注意】東京羽田発の朝一便で長崎空港に到着されても、佐世保港発午前的高速船、フェリーには間に合いません。

小さな島へ

島旅のイメージがつかめたら、
ぜひいちど、プランニングを。
そこからは、私たちに任せください。

おぢかのことならなんでも 島旅コンシェルジュへ

島の観光なんでも案内所、島での過ごし方の受付窓口、古民家ステイの
フロント、なんでもおぢかアイランドツーリズムにお任せください！

「島旅は初めてなんですけど、どんな準備が必要？」
「インターネットで調べても、わからないところがあるのだけど…」

島旅が初めてのお客様でも、不安なく最大
限に滞在のひとときを堪能していただくた
い！島の魅力を感じていただける素敵な旅
のサポートを！との思いから、おぢかアイ
ランドツーリズムは「おぢか島旅コンシェル
ジュ」として、お客様だけの「オリジナルの
島旅づくり」をお手伝いいたします。
都会にはないどこか懐かしい雰囲気は今も
残る島ならではの時間、浪漫。そして人た
ちとのふれあい。同じ日本でありながら、別世
界への島旅へ…。
おぢかでの島旅の楽しみ方は、島内の観光
地めぐりだけでなく、人数や滞在日数、目的
によってさまざまです。
だからこそ、よくある観光地の旅バックパ
ランのように、ボタンを押せば予約完了では
なく、お客様の要望をできるだけ詳しくお伺
いし、ご予約前に直接電話でお話をさせてい
ただきながら、オリジナルの島旅プランを作
ることをお勧めしています。
島旅の交通、宿泊、観光、体験など「おぢ
か」の島旅は、どんなことでもご相談くださ
い。みなさんの自在な「島暮らしのひととき」
をサポートいたします。

予約・お申し込みまでの流れ

Step 1

まずは、
ご相談
ください。

ご希望・ご予約の日程・滞在
日数・人数・来島時の航路・
宿泊方法などについて HP
のお問い合わせフォームに必
要事項と内容をご記入・送
信いただくか、直接お電話
にてご相談ください。

Step 2

プランの
ご提案を
行います。

お客様からのご要望内容
に沿って、日程内に合わせ
たお客様ごとのスケ
ジュールプランをご提案し
ます。その後何回かお電話
でのやりとりの中で、プラン
の修正・調整を行ないま
す。

Step 3

プランの
決定・ご予約
の完了

プラン内容が確定したら、
この段階でご予約完了とな
ります。その後予約内容の
スケジュール表を確認表と
して送信いたします。

Step 4

渡航日当日・
お支払い

窓口は、小値賀島フェリー
ターミナル内にありますの
で、来島時にまずカウン
ターまでお立ち寄りくださ
い。受付と、スケジュール
確認をさせていただきます。
お支払いがある場合は、
このときに一括でお願い
いたします。

旅のご予約は、ご出発日の14日前までお願いいたします。
島での旅は、思わぬ船の欠航など、天候による影響がつきもの。最新の情報は、随時お伝えいたします。

島の飲食店		各店舗とも、季節により営業時間・店休日等異なりますので、詳しくは直接お問い合わせください。	
			
すし平六 寿司 11:00~19:00 予約により時間対応します。 56-2673	やませ食堂 軽食・ちゃんぽん 11:00~13:30 55-2601	喫茶タートル コーヒー・喫茶 10:00~22:00 56-4400	ふるさと 食堂・仕出し・焼肉 昼 11:00~14:00 夜 17:30~21:00 56-3935
			
おたふく たこ焼き・お好み焼き 10:00~18:00 56-4153	焼き鳥 ことし 焼き鳥・居酒屋 夜 17:00~24:00 55-4728	おーがにつく 定食・喫茶・ラーメン 11:00~22:00 56-3454	息子の酒と母の飯 谷商店 居酒屋・バー 夜 17:30~23:30(ラストオーダー) 56-2134
			
すずらん 弁当・定食・居酒屋 昼 10:00~13:00 夜 16:00~22:00 56-2458	伊勢 焼き肉・居酒屋 17:30~23:00 55-4302	ふくみ スタンドバー・居酒屋 56-2076	太閤 割烹 17:00~23:00 56-2447
			
レストラン アイドル レストラン・バー 56-3956	潮 居酒屋 18:00~23:00 55-4268	カラオケメロディーBOX カラオケ・居酒屋 19:00~25:00 56-2693	スナック 美松 スナック 56-2653



島のめぐみは、大地と



値賀咲 (ちかさき)

美しい小値賀近海で、地元漁師が一本釣りしたイサキ。臭みがなく上質。尾びれについたゴールドのシールが目印です。



白銀 (はくぎん)

小値賀の西沖、白瀬灯台付近で獲れるタチウオのみをブランド化。すくすく育った独特なプリプリ感が大人気。



島アワビ・島サザエ

中世には、明鮑として、対中国貿易の主要な輸出品だった程の上質さ。五島灘の荒波によって身がしまり肉厚と評判。



おぢかの赤土"島野菜"

環境にやさしい農業に取り組み、潮風が運ぶミネラルをたっぷり吸い込んだ粘土質の赤土が、豊かで栄養豊富な実りのひみつ。

「魚も野菜もうまかばい」 豊富なじげもんをご賞味あれ

じげもんとは、長崎の言葉「地元のもの」のこと。地元でとれた魚や野菜を指しています。なにしろじげもんには、美味しいものがたくさん！豊富で新鮮な海の幸に、なだらかな地形をいかして育てられたふりぶりの農産物。身体にしみじみ沁みわたる、まさに地産地消を体感できることうけあいです。季節ごとのじげもんは、民泊で体験できるし、食材を買って古民家で料理をしても楽しめます。

すばかまぼこ

「すば」とは、かまぼこを巻いた藁茎のこと。近海で獲れたアジと卵白で作った蒸しかまぼこは、すべて手づくりで防腐剤なしの無添加。



カツオの生節

近海で水揚げされた「ハガツオ」を1本1本手作業で三枚におろし、熱湯で茹で味付けは一切せずに、桜や松木等(5〜6種類)で燻製に。



海からの贈り物。



落花生

独特の風味と潮の香りがする落花生は、当町の豊かな自然と伝統技術により誕生した、町を代表する逸品です。



おぢかの塩

小値賀周辺の海域の中でも、海流が良く清澄な海水の取水地を選んだ、歴史ある野崎島沖の神嶋神社と対をなした神様からの贈り物。



小値賀杜氏のお酒

江戸時代、捕鯨や海運業などで栄えた豪商が手がけ、培われた技術はやがて九州の蔵元に請われていきました。小値賀が「杜氏のふるさと」と呼ばれるゆえんです。



おぢか T-シャツ

観光客の方にも地元の方にも大人気の島オリジナル T-シャツは、夏には島内でも着ている方をよく見かけます。あなたもこれを見て、島民の仲間入り？

かんころ餅

小値賀の赤土で育ったサツマイモをスライスし、茹でた後に天日干し。ショウガ・ゴマの風味がなんとも言えない、素朴なふるとの味。



おぢか島味噌

裸麦と大豆を原料とし、塩を活用しながら、原料すべてを小値賀産にこだわった、昔ながらの伝統を継承した手づくりじげもん味噌。



おぢか焼

おぢかの赤土を島おこしにと立ち上がった「小値賀赤土研究会」。その熱きハートと技術による自信作がこの小値賀独自の焼き物「おぢか焼」です。



ちかまるくんグッズ

「島とみなさんの関係が“近まる”ように」という想いが込められた、おぢかオリジナルの人気ゆるキャラ「ちかまるくん」。グッズも子どもたちを中心に大人気です。



島のめぐみカレンダー



ト マ ト
サ ツ マイ モ
カ ボ チ ャ
ブ ロ ッ コ リー
エ ン ド ウ 豆
ス イ カ
メ ロ ン
落 花 生



イ サ キ
タ チ ウ オ
ブ リ
マ ダ イ
ミ ス イ カ
ア ラ カ ブ
シ ビ
イ セ エ ビ



島の赤土でつくられた新鮮野菜は、島のおばちゃん達がひらく、港の小さな朝市「あい菜市」で買うことができます！その他、島内商店や、天気の良い日は笛吹本通りの各お店の前に農家さんの「無人直売箱」も並びます。

□あい菜市/
月・水・土曜日 朝7時〜
笛吹港はまゆうのりば横 Map P16 右下



なんと島内には、魚屋さんといったお店はなく、切り身も売ってません！それほどに、島では新鮮な魚が身近な証拠。いちばんのオススメはやっぱり漁協で直接購入！その他、笛吹の商店でも一部、鮮魚を購入できるお店もあります。

□宇久小値賀漁業協同組合/
TEL: 0959-56-3131 Map P16 右下



島の人はお祭りが大好き
町内イベント カレンダー

3月 おぢか音楽
フェスティバル

・担い手公社フェア
・じげもん祭

6月
・ペーロン大会
・夏祭り大会
・ファミリー
アジ釣り大会

8月
・町民体育
レクリエーション大会
・秋の大祭

12月
・クリスマス会
・ふるさと産業祭
ふれあい広場

民泊お母さん代表の宇戸靖代さんがオススメ

島民泊で過ごすリアルな島暮らし

小値賀での民泊は、まるで久しぶりの親戚のお家。
遠慮せず、ぜひ積極的な体験・交流を。



おぢか民泊部会長
宇戸靖代
うどやすよ

おぢか民泊では、おぢかの島人のお宅へホームステイ。島暮らしを丸ごと体験していただけます。(お二人以上、一泊から)

フェリーターミナルへの送迎など本島内移動も民泊さんと一緒に。まるで親戚のお家に帰ってきたかのようです。付近の浜で魚や貝をとったり、畑の野菜を自分でとって食べたり、まさに田舎暮らしの入門生活体験。

さらに島人しか知らない名所や海水浴場や磯場などを教えてもらえますし、漁師料理や郷土料理なども一緒に作ることから片付けまで一緒に体験することができます。小値賀港より再び船上の人となる頃には、「また会いに来るね!」ときっと思う、忘れられない出会いになっていることでしょう。



Schedule...

- 16:00 フェリーターミナルにて民泊さんとお対面。おぢかアイランドツーリズムスタッフがご紹介し、民泊さんの車に乗ってお家まで移動。お酒を楽しみたい方は、途中で酒屋さんに立ち寄りますので、ご自分の分を買ってください。
- 夕方 お家に着いたら、まずはゆっくり自己紹介で打ち解けあい。一緒に食事の準備をお手伝いしながら、家族団らんの食事タイム! 旅館民泊に比べれば、決して豪華ではないけれど、民泊さんの想いがいっぱいのおうちごはんを、いろんなお話をしてもらいながらいただきます。
- 夜 盛り上がり話して、あっという間に夜は更けていきます。一段落したあとは、片付けもお手伝い。
- 翌朝 集落の朝を感じながら近くを散歩したり。ご近所さんと交わす挨拶も、すがすがしいもの。朝食も、みんなで一緒に。

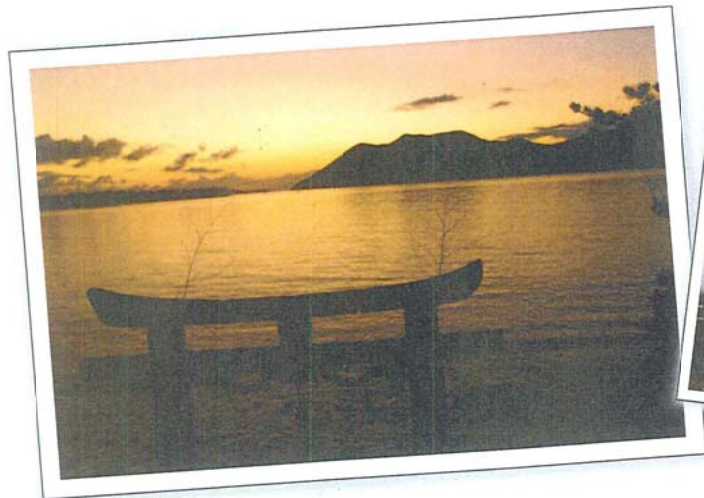


私たちが おもてなし

島のことが一番よく分かる島人のお宅へ
一日からのホームステイ、「民泊」はいかが?

「民泊」は島の民家に宿泊する、いわば「ホームステイ」。ただいま漁師や農家など職業もそれぞれ、家族構成もさまざまの、約四十軒の家庭が「民泊」を行っています。一緒に食事の支度をしたり、ごはんを食べたり、島のあちこちを案内してもらったり。まるで島に暮らしているかのように一日が過ぎていきます。





小値賀町歴史民俗資料館
学芸員
平田 賢明
ひらたまさはる



島の歴史博士こと平田くんがオススメ 島の歴史は意外と深い！

遣唐使の時代からある島の歴史、昔、実はこんな小さな小値賀島も2つの別の島だったとか？！

五島列島はその昔、「知阿島（ちかのしま）」といわれ、小値賀島は当時の名を引き継いでいるといわれています。遣唐使船の航路や、捕鯨の基地として歴史にも多く登場し、五島列島で唯一確認されている古墳になる神方古墳や、五島列島最古の木造建築がその姿をとどめるなど、

小さい島ながら歴史的要素が濃いエピソードが多いんです。また、もともと2つの島だったのを1300年代に埋め立て、今の小値賀島の大きさになっているなど、驚きの歴史があるのも、興味深いところ。ごろごろとでてくる歴史ネタ。ぜひ探してみてください。

Schedule...

- 10:00 フェリーターミナルにてレンタサイクルを借りて、歴史散策の探検へスタート。
まずは、笛吹地区にある豪商小田家の屋敷を保存しながら開設する「歴史民俗資料館」で、この島の歴史について勉強。島の歴史に関する資料も収集できます。
- お昼 この島では、漁師町の笛吹地区にしか飲食店はないので、定食屋さんなどで先にお昼を済ませて歴史スポットへ出発！ こちよい日であれば、お弁当を買っていくのもおすすめです。
- 午後 かつては2つの島だった小値賀島。1300年代に埋め立てられた建武新田の地域やその使役牛の供養塔である牛の塔、中世の中国船の物と推測される碇（いかり）石が沈む前方湾を眺めながら、野崎島との対なる社の地神島神社を参拝。
小さいながら五島列島で唯一現存確認されている神方古墳、築160年を越す豪商の屋敷を保存する「レストラン 藤松」。本城岳へ唐見崎へ行けば、遣唐使の時代からの歴史に触れることができます。
途中、景色の良い場所で休憩をしながら、ゆっくり自分のペースで回ってみましょう。島の中央を通る、1600年代に植林されたという姫の松原、そして、小値賀で一番最初に人が住んだとされる斑（まだら）島では、世界第2位の規模といわれる自然の不思議、ポットホールもぜひ見てください。



小値賀に伝わるむかしの話。こんなふうには暮らしていたんだよ、とかあの家にはこんな歴史があるんだよ、とか。目の前の景色がちよつとちがった風に見えるかもしれません。

むかしむかしの話はなし



島の歴史のはなし

古くは古事記に「知阿島」と記された五島列島。その中で小値賀は、遣唐使の船が大陸へと渡る航路上に位置する重要な島でした。江戸時代には、捕鯨や廻船業で賑わったことが伝えられています。いまでは漁業はもちろん、農業・畜産業も盛んで、多彩な風景が島内で広がっています。



島のむかしばなしのはなし

「よく作物が実るように」や「子どもの夜泣きがやみやすうに」など、折りやまじないは島の生活に深く密着していました。便利な生活とともに、いずれ失われてゆくかもしれない小値賀の風俗は、大人にとっては懐かしく、子どもにとっては新鮮に感じられるものかもしれません。

おちか絵本のご紹介

「おちかのむかし」

むかしの行事や慣習には、いまではすっかり途絶えてしまったものもあります。先祖のあたたかな願いや折りを後世に伝えるために作られた、ユーモラスな小値賀の絵本です。





島のふるい石畳

島の歴史と民俗を伝える「歴史民俗資料館」の前には、なにやら古い石畳が。実はこれ、資料館が以前「小田家」だった頃、ここまで海だったことの証なのです。捕鯨で栄えた小田家は、家の前に船着き場があったことが分かっています。つまりこの石畳は、海に通じる坂道だったということ。何気ない風景の中に残る、古の記憶。ゆっくりと探してみるのも素敵です。



島のねこ

島ではねこがごろん！と寝転がったり、ちょっとお愛想してよってきたり。小値賀の風景にねこがいたら、なんだかあったかくてノスタルジックな気持ちになるから不思議です。



お地蔵さん

小値賀には、いろんな場所にお地蔵さんがいらっやいます。捕鯨に出る人のために安全を祈るものだったり、火の用心を祈るものだったり。いまでも静かに町を見守ります。

車が行き交う道から一歩足を踏み入れると、そこには肩が触れ合うような路地裏が広がっています。ひよいっと姿を見せる猫、井戸端会議中のお母さんたち、どこからともなく香ってくる煮物の匂い。思わず時間が巻き戻ります。

島の路地裏タイムスリップ

Schedule...

- | | |
|-------|---|
| 10:00 | フェリーターミナルから歩いて5分程度。旅館や漁協の建物のあたりからスタートです。 |
| | まずは、なだらかな斜面に沿って、両側にいろんな商店が軒を連ねるメインストリート、「笛吹本通り」を歩いてみましょう。質沢な数ではないけど、今の島の住民たちを支える商店の風景を楽しんでみてください。 |
| お昼 | 坂の上、郵便局の付近まで歩いたら、六社さん（六社神社）に島訪問のご挨拶をし、そのまま路地の曲がり角に入って、探検してみてください。なかには、民家の敷地が路地が分からなかったり、抜けられず袋小路のようになっているところも。もし、迷ってしまったら、近くに地元の方がいたら、気軽に「こんにちわ〜」とあいさつを交わしながら、聞いてみてください。さっと快く答えてくれます。 |
| 午後 | 途中、石畳の道路に来たら、その近くにある「歴史民俗資料館」にも寄ってみてください。 |

理事長こと尼崎 豊がオススメ

島の新町は古き手つかずの昭和路地

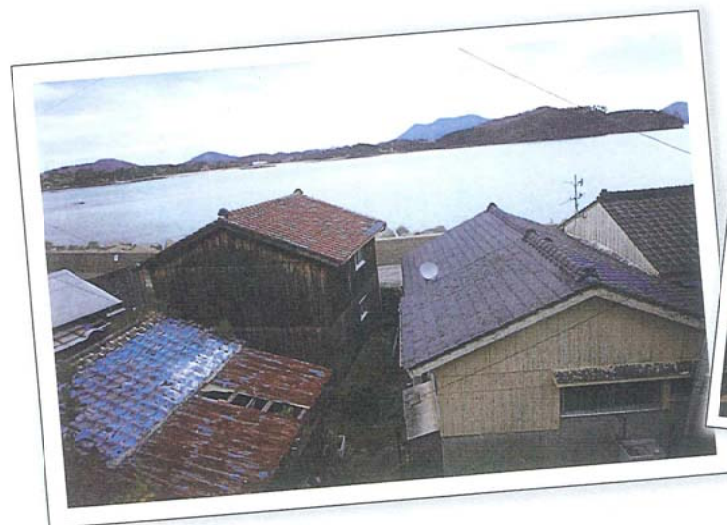
漁師町ペンキの壁や、少し錆びたトタン屋根、古い木造の家、お地蔵さん、干し魚、古看板。

小値賀の繁華街（とまでは言えませんが…笑）は、海側を下手になだらかな斜面に沿って立ち並ぶ古い軒のあいだを、細くてゆるい坂の路地や、ところどころある階段を、登ったり下ったりしながら、探検するように散策する路地集落です。漁師町特有の壁の色をした建物や錆び

たトタンなど、古き手つかずのノスタルジックな雰囲気に囲まれています。

また、島のなかでも特にこの笛吹には、いっぱい猫たちも住んでいます。やっぱりみんな少し恥ずかしがり屋ですが、島の路地裏猫とのシャッターチャンスもぜひ。

NPO法人おぢか
アイランドツーリズム協会
理事長
尼崎 豊
あまがさき ゆたか



「また来るね」

長年、島で生活してしまふ
不思議な島、小値賀。



「どこから来た
ね？」道行く島の人
から声がかかります。
「もつと食べんね」
民泊先のお母さんが、
おかわりをうながし
ます。

今日着いたばかり
の旅人も、まるで以
前から住んでいたか
のように自然に扱わ
れることに、きつと
最初は戸惑うこと
でしょう。それでもあ
まりにみんなが、普
通に接してくれるこ
とで、自分の心の扉
が開くことに、ふと
気づくはず。

旅の醍醐味はいろ

いろ。食、風景、歴
史……。もちろん、小
値賀にもたあつぶり
があります。それでも
フェリーが島を離れ
る瞬間、心をよぎる
のは島の人の笑顔。
「おもてなしの島」あ
いさつの島」として
知られるこの島の、
その真髄を味わう旅
心が豊かになる旅に
出発しませんか？